



中野区役所

17時間前

町会レポートNo.10 多田町会

安心・安全なまちづくり「見守り支えあい訪問活動」

こんにちは、町会ひよこです。

今回は4月22日（日曜日）午前中に行われた、多田町会の「見守り支えあい訪問活動」取材しました。集合場所は、南台三丁目交差点からほど近い、多田町会の会館。町会の皆さんをはじめ、民生児童委員、友愛クラブ、中野警察署、中野消防署の方など、約40人が集まりました。

この活動は、災害時の避難支援も視野に入れた日頃の見守り・支えあいのため、中野区から提供された「見守り対象者名簿」を活用し、70歳以上のひとり暮らしの方や、75歳以上のみの方で構成された世帯等を訪問するものです。多田町会では平成23年から、半年に1回のペースで、この活動を行っています。

ミーティングの後、4つのグループに分かれて会館を出発。地域でおなじみのオレンジ色の町会ジャンパーのほか、民生児童委員は赤色、友愛クラブは緑色のジャンパーを羽織って、訪問が始まりました。訪問先のお宅では、「お変わりないですか」と声をかけながら、様子を伺ったり、特殊詐欺や、熱中症などに関する注意喚起をしたりしていました。

訪問先の女性は、「いざという時のことを考えると不安に思っていた。こうしてたくさんの人に見守ってもらって、感謝の気持ちでいっぱいです」と話していました。

多田町会の吉成会長は、「訪問そのものに意義があるのはもちろんだが、まず、この取り組みを知ってもらい、地域に暮らす一人ひとりが、見守り・支えあいを意識することが大切。この訪問は、地域の方に活動を知っていただくためのPRでもある」と、活動への思いを話していました。

インターネットが普及している昨今、人と人が顔を合わせることで生まれる「温かさ」を改めて感じた、町会ひよこでした。

以上、町会ひよこがお伝えしました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<http://nakano-chokai.jp>

